

34 地域力の向上を支援します



地域の絆を大切にするため、町会をはじめとする多様な団体の活動や連携を支援します。



現状と課題

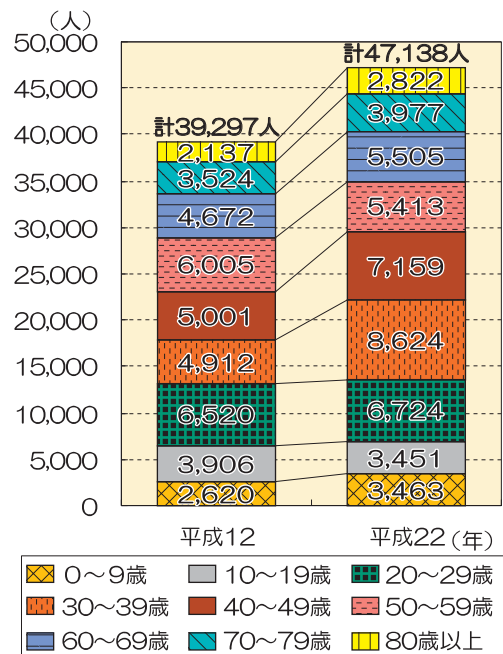
- 30代から40代のファミリー層を中心として、区の人口が増加傾向にあります。
- 地域活動の担い手が減少しており、マンション住民の地域活動への参加促進が求められています。
- 従来からの町会等の地域組織と大学、企業、NPOなどの多様な主体が連携・協力することで、地域コミュニティの充実が求められています。

課題解決の方向性

- 地域の出張所機能を活用して、マンション居住者の町会活動に対する理解や地域活動への参加を促進し、町会住民との連携が円滑に行われるようにするための支援を行います。
- 町会、商店会（街）、大学、企業、NPOなどの多様な主体との連携・協力による地域活動を推進し、地域共生社会の実現をめざします。

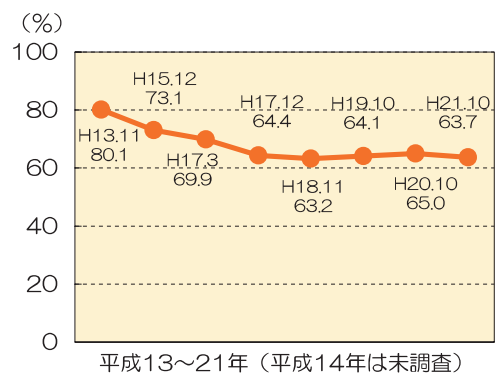
年代別人口の10年前との比較

(各年1月1日現在)

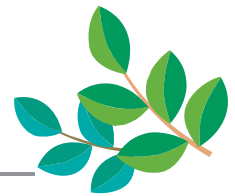


資料：住民基本台帳人口

町会加入率の推移



資料：千代田区民世論調査



めざすべき5年後の姿

- 地域活動の中心である町会と大学、企業、NPOなどの多様な主体との交流が活発に行われ、信頼感が醸成されている。
- 地域の特性に応じた新たなコミュニティが形成され、地域の絆が強まっている。



魏町納涼子ども会

5年後の姿を実現するための主な取組み

取組項目	取組内容
町会・連合町会への支援	住民の意思にもとづく自主的な地域活動が行われるよう地域特性に応じた出張所機能を活用して、地域コミュニティの核である町会への支援を行います。
千代田学	千代田区に関する様々な事象を調査・研究する区内の大学、専修・各種学校に助成をしてその成果を活用することで、千代田区の魅力を高める施策を推進します。
NPO・ボランティアとの連携	NPO・ボランティアの先駆的、創造的な視点に基づくアイデアを施策に反映させて、多様化する区民ニーズや新たな課題に対応していきます。
ボランティアクラブ制度の充実	区内企業の社員がボランティアとして地域活動等に協力した時間に応じて、企業が社会福祉協議会に寄附をする制度をさらに普及、充実します。
マンション住民との交流	出張所機能も活用しながら、さまざまな機会を通じて区政情報を提供し、地域住民との交流が深まるような施策を推進します。

千代田区第3次基本構想の視点

- 4 人と人とのふれあいを大切にする、個性あふれるまち
18 100万人のコミュニティの輪が広がるまち

35 豊富な観光資源を活用し、千代田の魅力を高めます



観光の推進を通じて、誰もが誇りを持てる、魅力あるまちづくりを進めます。

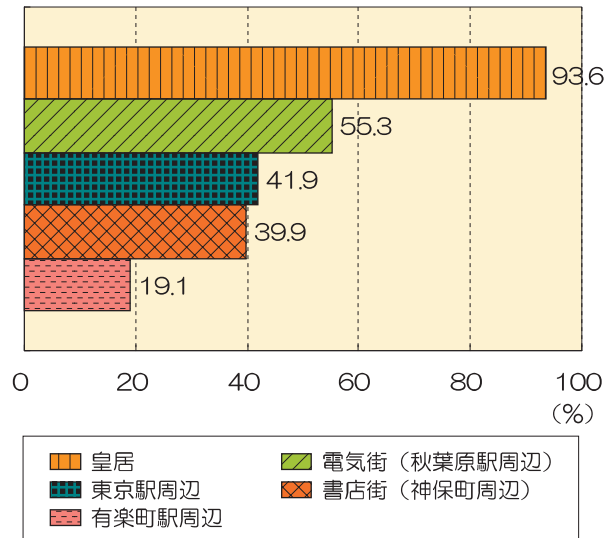


現状と課題

- 千代田区には、日本の政治・経済の中核機能が集中する一方、旧江戸城跡（皇居）をはじめとして、多くの「歴史的遺産」が存在しています。
- 秋葉原や丸の内周辺の再開発等に伴い、来訪者が増えており、千代田区は観光地としての資源・魅力に溢れています。
- 観光資源を磨き、誰もが誇りを持てる魅力あるまちづくりを進めることが求められています。



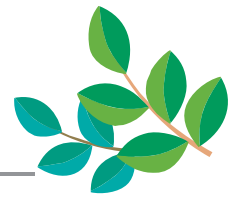
千代田区の観光スポットだと思える場所（上位5位）



資料：第36回 千代田区民世論調査（平成21年度）

課題解決の方向性

- 歴史と文化、まち歩き、産業観光、地方都市との連携・交流など、千代田区観光ビジョンに示された施策を実施していきます。
- 行政の枠を超えた、隣接する周辺自治体との連携や企業・民間団体との官民協力といったような柔軟な活動を行っている観光協会を支援します。



めざすべき5年後の姿

- 地域ごとに観光資源が整理・活用され、区の魅力をアピールしている。
- 地方都市との連携により、観光ネットワークが構築されている。
- 観光協会が区と連携し、観光施策の中心的役割を担っている。



千鳥ヶ淵のさくら

5年後の姿を実現するための主な取組み

取組項目	取組内容
さくらまつり	春の恒例行事として定着しているさくらまつりに、「地方との共生」という視点を盛り込みます。
地方都市との交流	千代田区にゆかりのある地方都市とネットワーク化を図り、観光協会を通じた情報交換の場を設けていきます。
歴史文化資源に関する情報の発信	千代田区の豊かな歴史文化資源を整理し、観光資源として内外にアピールしていきます。
観光協会への支援	観光協会の組織機能を強化するための支援を行います。あわせて、観光ボランティアなどの観光施策の担い手を育成していきます。

千代田区第3次基本構想の視点

- 1 安全で安心できる、いつまでも住み働き続けられるまち
- 7 活気と賑わいのあるまち

36 商店会(街)や中小企業を応援します

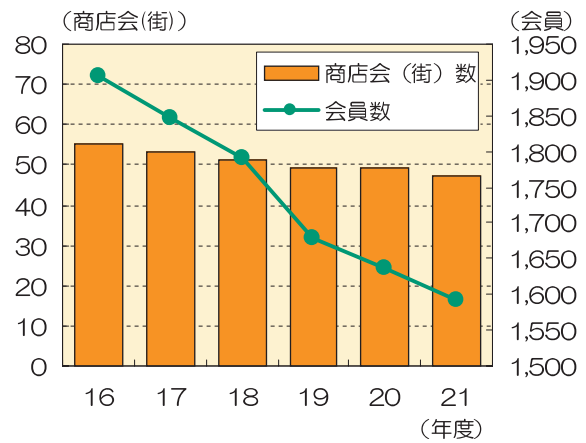


商店会（街）活性化に向けた自主的な取り組みや商店街振興組合等への加入促進、中小企業の経営安定化を支援します。

現状と課題

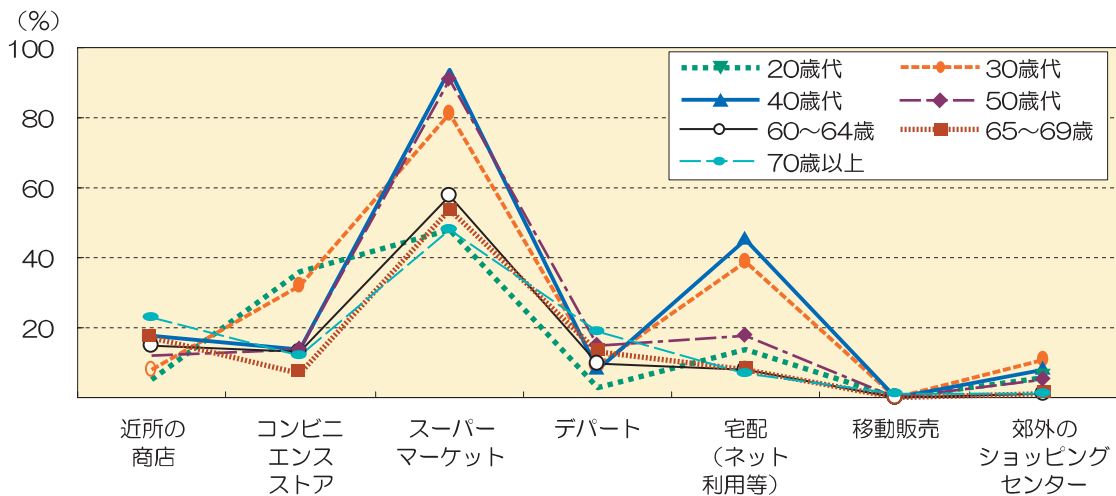
- コンビニエンスストアや宅配の利用など、若手層を中心に消費行動が多様化しています。
- 加盟店の減少により、商店会（街）組織の維持が困難な状況です。
- 景気の低迷などにより、中小企業の経営が不安定な状況になっています。

商店会（街）数と会員数

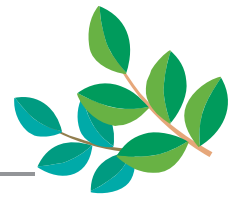


資料：区民生活部

日常の生活用品を買う場所



資料：第36回 千代田区民世論調査（平成21年度）



課題解決の方向性

- 集客力を高めるための自主的な取り組みや、商店会（街）の組織強化に向けた取り組みに対して積極的に支援します。
- 中小企業者の経営安定化に向け、社会経済情勢に適応した商工融資制度を整備し、経営相談・診断との連携を図ります。

めざすべき5年後の姿

- 地域の人に加え、働く人、訪れる人などにとっても魅力的な商店会（街）として活性化が図られ、身近な買い物の場となっている。
- 千代田区の特徴を活かした産業の活性化が図られている。



5年後の姿を実現するための主な取り組み

取組項目	取組内容
商工振興基本計画の改定	地域経済の活性化を図るために、区内の中小企業や商店会（街）の業態の変化に合わせた区の商工振興施策の方向性を定めます。
賑わいまちづくり支援	魅力あるまちづくりの促進と区内商工業の発展のために、商店会（街）や団体の自主的な取り組みを支援します。
商工融資	経営の安定化を促進し、区内商工業を活性化するために、中小企業のニーズに適応した商工融資制度を整備します。
経営相談	区内中小企業経営者の経営安定化支援と区内商工業の活性化のために、専門の中小企業診断士による適切な指導やアドバイスをを行います。
新・消費生活支援事業	区民の消費生活を継続的に支援するとともに、区内商店会（街）を活性化していきます。

千代田区第3次基本構想の視点

- 1 安全で安心できる、いつまでも住み働き続けられるまち
- 7 活気と賑わいのあるまち

37 安全で安心な消費生活を支援します



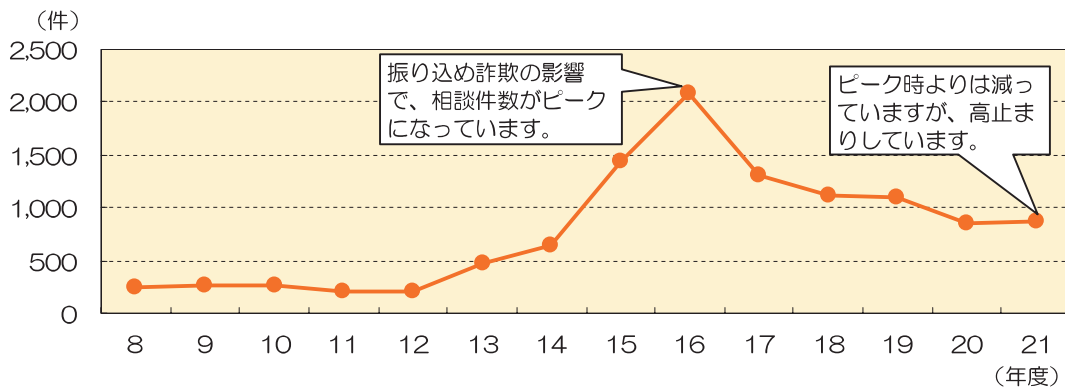
消費生活情報の効果的な提供、被害の未然防止、拡大防止及び解決に向けた施策に取り組みます。



現状と課題

- 悪質商法による被害や架空・不当請求など、消費者トラブルが多様化・複雑化しています。
- 消費者への適切な助言や、関係機関への取次ぎ、事業者との交渉などが求められています。
- 消費生活情報の充実と効果的な提供が求められています。

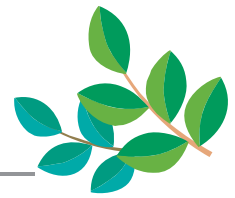
消費生活相談件数の推移



資料：区民生活部

課題解決の方向性

- 消費者の視点に立った横断的な組織体制を構築し、国や都、警察などの関係機関と連携を図ります。
- 利用しやすい相談窓口を整備し、専門相談員による相談体制を強化します。
- 消費者被害を未然に防止するため、迅速かつ正確な情報を発信・提供していきます。



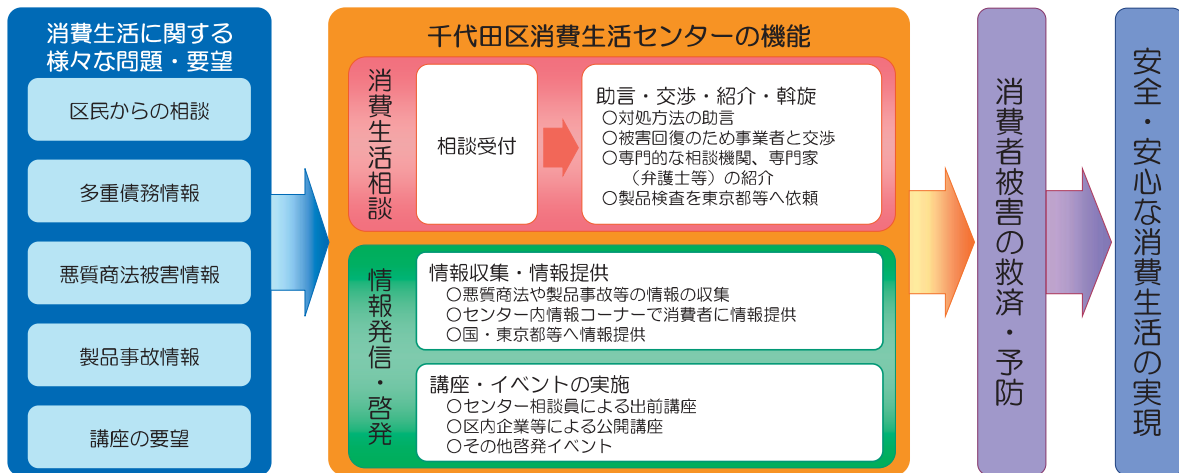
めざすべき5年後の姿

- 区民をはじめ、区内で働き、学ぶ人たちが気軽に相談できる環境が整備され、複雑化する消費者問題の解決に向けて適切な支援が行われている。
- 十分な消費者教育や啓発、消費者被害の未然防止が効果的に行われている。

5年後の姿を実現するための主な取り組み

取組項目	取組内容
消費者行政の一元的な推進	消費者問題に関する一元的な対応が可能となる窓口を設置したうえで、区の総合窓口、関係各課および、国や都、消防、警察などの関係機関との緊密な連携のもと、消費者の安全の確保ならびに被害者救済など消費者問題の解決に努めます。
消費生活センターの機能拡充	消費生活に関する様々な相談に対して、迅速かつ適切に対応するため、消費生活相談員を増員し、専門知識を有する職員を育成するなど、センター機能の充実を図っていきます。
消費生活に関する普及啓発事業	区民一人ひとりが自ら考えて行動できる消費者となるように、様々な機会を通じて情報を発信し、消費者被害の未然防止に努めていきます。

消費生活センターの機能図



千代田区第3次基本構想の視点

- 1 安全で安心できる、いつまでも住み働き続けられるまち
- 8 安心して消費生活をおくれるまち